

## 第7回地域型住宅「信濃町の家」構築検討委員会 議事録

日 時：平成30年3月14日（水）19：30から

場 所：富士里支館

出席者：検討委員4名（6名欠席）、事務局3名

### 1 開 会

（松木係長）

### 2 あいさつ

（鹿島委員長）

みなさんお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

省エネルギー基準の家づくり講演会に引き続きとなりますが、よろしくお願いします。

### 3 議題（議長は鹿島委員長）

#### （1）モデルハウス建築（案）について

- ・別添資料により事務局より説明

（K委員）

個人的ではありますが、モデル住宅にお風呂設置は必要無いと思う。施主が見学に来てイメージし易いが、設置に伴い配管工事など経費が余計に掛かってしまい展示品にそこまで掛けるのはどうかと感じる。

（事務局）

風呂を設置した場合の費用は。

（K委員）

ユニットバスで概ね120万円は掛かる。シャワールームだけでも良いのではないか。

また、ユニットバスでは無く町産材を活用した天然木使用やタイルを使ったものも面白いと思う。ハーフユニットも良いと考える。

（I委員）

モデルハウスにキッチンがあった方が良いと感じる。建具で町産材を使ったものを見せることはできないか。見せるべき部分と見せない部分をハッキリと分けると良い。

（T委員）

屋根は緩やかな傾斜にして、そろそろと落とすことも可能である。候補地の場所は、確かにロケーションは良い。現在の高級住宅建築費で坪90万円、少し上のクラスでも坪70万円であり、モデル住宅の金額は妥当だと思う。

（K委員）

省エネ住宅にするとサッシや断熱材などで坪65万円から70万円が平均的だと思う。

屋根の形状については、自然落下、融雪、耐雪の3種類あるが融雪型は、給湯器から屋根の外周のみを融雪するため、屋根の中央に雪は残る。また、太陽光パネルは積雪対応で急傾斜の形状

になる。耐雪は見た目が悪い。構造計算をして耐えることは可能だが2 mも雪が載っている状態は管理不足の印象を与える。

(I 委員)

雪国暮らしにはインナーガレージは適さないと感じる。排気ガスによる中毒の懸念。火気を扱うこともあるので防火上のリスクがある。一般の住宅展示場にはあまりない。

(T 委員)

建築場所についてはロケーションが良いので、2階にリビングを持って行き、大きなガラスで景観を楽しんでもらう。切妻にすることが望ましいのではないか。

(K 委員)

本日の講演会でも参加していた左官業や建具業に従事している町内職人の技を取り入れたモデル住宅も考えてほしい。漆喰施工や町産材の魅力を見てもらう。

(I 委員)

雪対策については、昔に比べ降雪量が少なくなっているため、年1回程度の雪下ろし作業で対応できる。そのため、克雪をコンセプトに入れる必要は無いと考える。克雪対応は施主の要望によって建築することが望ましい。

モデル住宅建築を強く希望したい。

(事務局)

本日の意見を参考に、モデル住宅建築に向けた仕様を検討したいと思います。  
ありがとうございました。

#### 4 閉会

20時15分終了